

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
柳井市	伊保庄北地区	平成25年3月	令和5年3月

1 対象地区の課題

北部は、基盤整備も未整備であり、農地の形状は小さく耕作意欲も減退してしまう農地が多い。今後、地区内外から担い手の確保が最重要課題であるものの、伊保庄地区で中心経営体を探し出すのは困難な状況である。

2 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当地区の水田は、中心経営体である認定農業者が担うほか、入作を希望する認定農業者や新規認定農業者の受け入れを促進し、対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受け の意向	
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積
計	1 経営体	水稲、畜産	2.0 ha	水稲、畜産	2.0 ha

3 2の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

今後の活動方針
持続的な農業生産活動が行えるよう、農地の持つ多面的機能の維持管理・確保と農村景観の保全を進めていく。

鳥獣被害防止対策の取組方針
柳井市の半島部で有害鳥獣の被害が拡大しており、鳥獣害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや捕獲体制の構築等に取り組む。